

令和元年6月7日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

智頭町議会議員 大藤 克紀

谷口 雅人

### 議員派遣結果報告書

平成31年4月27日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 派遣名

- (1) 令和元年度町村議会議長・副議長研修会
- (2) 鳥取県町村議会議長・副議長研修会

#### 2. 目的

議会の重責を担う議長及び副議長を対象に開催される研修会に参加することにより、町村議会が果たす役割の重要性を再認識し、議会・議員活動の一層の活性化に資する。

#### 3. 派遣場所

- (1) 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 「東京国際フォーラム」
- (2) 東京都千代田区永田町1-11-35 「全国町村会館」

#### 4. 期間

令和元年5月28日、29日

#### 5. 内容等

- (1) 令和元年度町村議会議長・副議長研修会
  - ・テーマ  
「これからの町村議会を考える」
  - ・開会あいさつ  
全国町村議会議長会 会長 櫻井 正人 氏（宮城県利府町議会議長）
  - ・「町村議会議員の議員報酬等のあり方 最終報告」  
山梨学院大学法学部教授 江藤 俊昭 氏  
明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授 牛山 久仁彦 氏  
首都大学東京都市環境学部准教授 長野 基 氏

・町村議会特別表彰

①「小規模議会のあり方を求めて～夜間・休日議会の挑戦～」

長野県喬木村議会議長 下岡 幸文 氏

②「町民に寄り添う議会を目指して～鳥取県若桜町議会の歩み～」

鳥取県若桜町議会議長 川上 守 氏、副議長 前住 孝行 氏

③「京都府与謝野町議会の取り組み

～町民に信頼され存在感のある議会を目指して～

京都府与謝野町議会議長 家城 功 氏

・閉会あいさつ

全国町村議会議長会 副会長 川上 守 氏（鳥取県若桜町議会議長）

(2) 鳥取県町村議会議長・副議長研修会

・会長あいさつ

鳥取県町村議会議長会 会長 川上 守 氏

・講演

演題 「地方財政の現状と課題」

講師 総務省自治財政局交付税課 課長 出口 和宏 氏

## 6. 所 感

(1) 令和元年度町村議会議長・副議長研修会

「町村議会議員の議員報酬等のあり方 最終報告」は、すでに全国の各議員の手に届いているが、議論の経緯、論点の深部に対する思いは三氏の肉声でなければ実感できないほど、冷静かつ多岐にわたり分析、報告されたものである。

「報酬・定数」は自然科学ではなく、政治（決断）であり、それゆえに説明責任を伴うとの結びの通り、議論にはそれぞれに正当性があるが、現状のままではいけないという、現実を直視する必要性を強く説かれた。

議員報酬の問題は、住民が自らの町村議会をどうするのかという問題であり、議会が住民の理解を得るために努力し、あり方を検討する必要があるのだと感じた。

「議会の活性化と、住民に身近な議会を構築する努力」が必要であることを再認識した。今後、本町議会の進める議会改革の取組に活かしていきたい。

特別表彰を受賞した3団体の事例報告では、長野県喬木村の報告に対し、本町でも以前に夜間議会を試行した件と、現在の「働き方改革」のもとで、執行部、事務局の理解と協力が必要であることを質問したが、納得できる回答は得られなかった。

また、京都府与謝野町議会の取組は、町内の各団体と意見交換会を行い、現状の把握と、議会の姿を見ていただくことで信頼と存在感を示すという好例であり、本町議会も大いに取り入れるべきだと感じた。

3団体の取組は、「議会・議員の存在」が見えないという住民の声に全国の議会が直面している問題に対し、様々な形で地道に取り組む姿であり、正解・不正解のない、各地域の特色を生かしたものであった。

## (2) 鳥取県町村議会議長・副議長研修会

交付税の意味と、普通交付税の算定方法、地方交付税率の変遷、地方行政などについての解説を聴講した。

令和元年度地方財政計画として、幼児教育の無償化に係る財源の確保、林野庁の法律が新しく定められ、森林の管理・経営を、都道府県から市町村へ移行し、保安林の指定、担い手の育成森林の荒廃を食い止める財源として森林環境譲与税が譲与されるという仕組みができたことなど、地方交付税のあり方、ポイントとなる点を理解することができた。

また、講師の出口氏は、前の自治省に入省後、鳥取県に配属され、当時の西尾知事、片山総務部長時代を経験、総務省過疎対策課長を歴任するなど、地方の実情をよく理解され、地方の町村財政に最も係わりの深い立ち位置にある存在であり、意味深い講演であった。